



先月号に引き続いて、佐藤院長から頂いた原稿を掲載します。

広報さくらに寄せて

佐藤内科クリニック  
院長 佐藤秀俊

大学の循環器内科の後輩たちもたくましくなってきたので、引き受けていた大学での重要な役割のイベントが終わる2011年の秋に開業しようとの決意、教授と大病院の病院長にその旨をお話ししました。引き止めたお言葉もいただきましたが、最後は「頑張れ、応援する。」と快く承諾していただきました。そこからは大病院での診療、カテーテル治療を毎日やりながら、開業に向けての準備を並行して行いました。2011年10月31日が退職でしたが、その日の夕方までカテーテル治療を行い、治療が終わったあとカテーテル室にいた医師、看護師、技師の皆さんと握手をして挨拶して大学を後にしました。

2011年11月1日からは新しいスタッフと開業準備で慌ただしく過ごし、予定通り11月9日に無事開院できました。開院初日は、患者さんに来ていただけるかどうかドキドキしながら待合室を覗いてみたら5人の方が座っておられました。嬉しくて涙が出ました。開院直後に

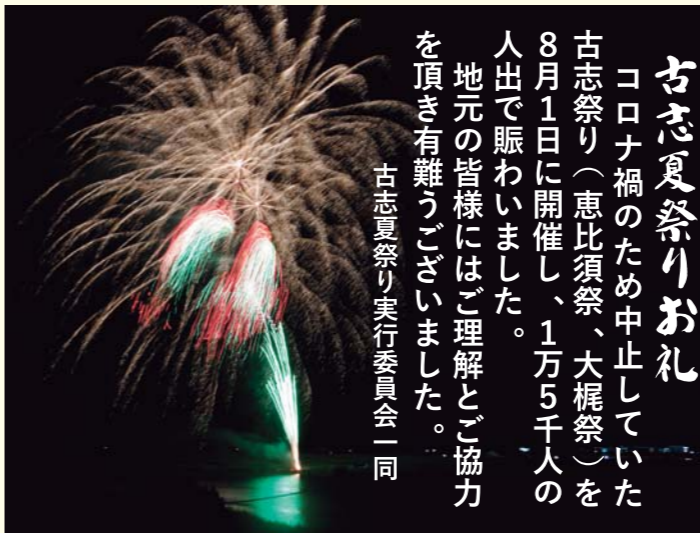
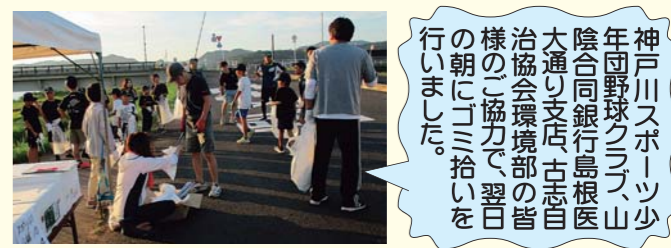
は、古志コミュニティセンターで私の講演を兼ねた歓迎会をしていただき、古志地区の皆様のご期待の大きさに身が引き締まる思いで、これから自分がしっかりとこの地域のかかりつけ医としての責任を持って地域の方々の頼りになる診療所を作り上げて行こうと思えました。

あつという間に12年目になりましたが、開業以来毎日充実した気持ちで診療することができ、勤務医の時の以上の充実感、達成感を感じている毎日です。これも地域の皆様に暖かいご支援をいただいているおかげだと感謝しております。また古志クラブや古志地区のゴルフコンペなど仕事以外のことにいろいろお誘いいただき、仲間に入れていただき楽しんでいます。これからも開業に資するまでと開院当初に決意した気持ちを忘れずに佐藤内科クリニックが皆様の健康寿命を伸ばすことに微力ながら貢献出来るよう精進してまいります。これからもご支援のほど、どうかよろしくお願いたします。



(完)

令和5年 古志夏祭り



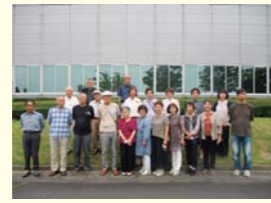
ふるさと学習視察研修に参加して

「コミセン事業委員会総務部長 林 保範

自分たちの住むまちを知り、魅力を発見し、一層親しみや愛着を持つことが出来ると思い、去る7月7日（金）、たなばた（七夕）の日に20名（男性9名、女性11名）で参加盛況で喜びました。

マイクロバスで古志コミセンを出発。まずは地元で完成したエネルギーセンターです。初めにビデオ視聴で施設全体を知り、市職員による説明を聞きながら施設を見学、環境についても考える良い機会になったと思います。ゴミ処理場は、私たちの生活に大切な施設です。24時間体制で稼働しており、最新鋭のコンピュータ制御で監視されています。

次に斐川町の島根富士通工場を見学、当社が出雲に根を下ろして30年が過ぎたようです。ノート、タブレット型パソコンは「出雲モデル」として日本全国に、世界に羽ばたいています。製造ラインの案内説明を受け、学習の機会を与えていただき、参加者全員が生き生きとした顔つきで満足した視察研修になりました。



【参加者感想】  
出雲エネルギーセンターと富士通を見学しました。初めての体験でとても有意義な一日となりました。次回が楽しみです。

御寄贈御礼 (R5・7・10~R5・8・14)

お寄せ頂いたお志は、地区の事業に有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

【香典返し】

廣瀬英典様(大槌) 吉井安見様(徳連東) 横木哲也様(上新宮)



行事予定	
9月 6日 (水)	りんごちゃん教室
9月12日 (火)	健康はつらつ教室
9月12日 (火)	高齢者のためのスマホ教室
9月19日 (火)	"
9月26日 (火)	"
9月16日 (土)	人権・同和教育研修会
9月17日 (日)	男女ヨガ教室
9月20日 (水)	元気サロン
9月21日 (木)	結核・肺がん検診

ひとひら抄



火がパツンと開く古志大橋の真上の空を、色とりどりの宝石がキラキラと散りばめていくよう。長椅子に座り、うちわで扇ぎながら、今晩はひとりで見ると、祭りが帰ってきた。伝統ある行事を継承するには、多くの力を知恵が必要。小さな町が大きな祭りをやっつけていく頑張りや、梶翁が遺した開拓心を思う。いつもならこの椅子に腰かけていた老夫婦は、今年はいない。川べりに咲くヤブカンゾウの花が酷暑の日々でもたくましい。(悦)